

△産業宣教 バビロンの産業人(イザ6:13)	△レムナント伝道学 レムナントの旅 (イザ40:6-8)	△核心/Remnant Day 3月学院福音化	△散らされた弟子たち 散らされた民を見つける者 (イザ6:13)
<p>□序論_祈りのやぐら(イザ62:6-12) 捕虜になっているので、道は祈りのやぐらを正しく作ることにしない</p> <p>1. イスラエル不信(原罪) - 霊的なことを信じないので、やぐらを作ることができなくて、神様を離れた原罪を分らないから、みことばを肉的に変えてしまう。</p> <p>2. 信徒が軽く見ることに祈りのやぐら</p> <p>3. 宗教団体、異端に多くの人を奪われている。</p> <p>4. 霊的捕虜 5. 肉的捕虜になる</p> <p>□本論_これを知って、心に定めた産業人</p> <p>1. 時空超越(25時)という神様の奥義、その契約を見たこと</p> <p>1) イザ6:13、7:14 御座に座しておられる主、レムナントの契約、インマヌエルの福音を回復しなければならぬ。</p> <p>2) イザ40:1-31、43:19-21 みことばの力を信じるとき、荒地に水が、川や海に道が出る。</p> <p>3) イザ60:1-22、62:6-12 光を放って、万民のために旗を揚げる見張り人-やぐら</p> <p>2. 心に定めたこと</p> <p>1) ダニ1:8-9、エス4:1-16 これしかないということを知って、心に定めた。</p> <p>2) 理由-霊的なことを分らないと、福音が必要なく、死ぬしかないということをつかんだ。</p> <p>3) あらかじめ(答え) - メッセージをあらかじめ握ったので祈り始めた。答えをあらかじめ見たのだ。</p> <p>3. 世界福音化に私の産業、学業、教会が用いられるようになる</p> <p>1) ネブカデネザル王に答えを与えたこと</p> <p>2) 三人の青年-火から救われたのは、世界福音化を置いて神様が与えられたこと</p> <p>3) ダリヨス王-獅子の穴に入って救われたのは世界福音化すること</p> <p>△事件を与えたように見えるが、神様は世界福音化の奥義を成し遂げる答えを与えられたのだ。</p> <p>□結論_実際のやぐらをどのように、どこに作るのか</p> <p>1. 考え-考えによって答えは変わる 2. 心-やぐらの始まりだ。</p> <p>3. 脳-考えと心はそのまま脳に刻印されて、なくなる。</p> <p>4. たましいの中に入る。 5. 永遠のこと(天国、地獄)とつながる(御座)-私たちの考えと祈りが御座に運ばれる。これがやぐらだ</p> <p>答え(編集) - みことばが答えになるように続けて編集</p> <p>応答(設計) - 続けて応答が来るとこれを握って計画をたてること</p> <p>解答(デザイン) - 他の人に解答として伝達しなければならぬ部分が見えるので現場を見てデザインすること</p> <p>△重職者は個人、教会、現場にやぐらを作りなさい。重職者、レムナントは世界を置いてひとつを握って祈って通じることがなければならぬ。試みにあうことはない。答えを受ければ良い</p>	<p>□序論_祈りの集中力_学び育てるべき</p> <p>1. 私を点検する時間があるべき</p> <p>1) 問題 2) 答え</p> <p>3) 捨てること、見つけること、持つこと</p> <p>2. 御座と私</p> <p>1) Trinity 奥義を味わう</p> <p>2) 創1:27、2:7 祝福が私の中に臨むように</p> <p>3) Trinity、創1:27、2:7 祝福を伝達する前に空前絶後の答えを見つかること</p> <p>3. 基準</p> <p>1) Trinity 中で成り立つ学業</p> <p>2) Trinity の中から出る私、私のこと、私の現場を見つかること</p> <p>3) タラントとともに世の中に出て行く前にこの祝福を受けること</p> <p>□本論</p> <p>1. どこにしようがアイデンティティ持っているべき</p> <p>1) 御座(イザ6:1-7) 祝福を味わう</p> <p>2) 召命(イザ6:8) 「私を遣わしてください」</p> <p>3) 身分-権威(イザ6:13) - 私たちが身切り株として準備された。</p> <p>2. 理由(答え)</p> <p>1) イザ7:14 私、世界にインマヌエルの祝福を伝達</p> <p>2) イザ40:6-8 永遠のみことばを握ること</p> <p>3) イザ60:20-22 私たちは不可能、主がなさること</p> <p>3. 使命</p> <p>1) イザ62:6-12 見張り人として</p> <p>2) ダニ1:8-9 これを悟った人々が心に定めた。</p> <p>3) エス4:1-16 エステルが心に定めた。</p> <p>□結論</p> <p>1. サミットタイム-今持つことは、大人の10年より大きい。</p> <p>2. 未来タイムが見える。</p> <p>3. 作品を作るタイムが出てくる。</p>	<p>□序論_イザ62:6-12 私のやぐら(見張り人)立てなければならない</p> <p>祈り-編集</p> <p>プラットフォームになる。</p> <p>考え、心、脳、たましいが御座とつながるのが祈りだ。</p> <p>みことば-設計-みことばが見えて信仰が生じる。</p> <p>見張り台-みことばで光を照らす見張り台</p> <p>待ち、挑戦(光)-見張り人は光を持って、待ち、危険な時は助けて生かす</p> <p>証拠-デザイン-証拠が来たことを持って世の中に出て行くこと</p> <p>アンテナ-世界を生かすようになる。</p> <p>御座、神の国、こと、宇宙、世の中-御座と疎通、神の国とそのことが起こる。祈りによって宇宙の祝福を味わって世の中を生かす。</p> <p>Bartizan(やぐら) - 神様が与えられたことなので、少しずつ祈り始めてもよい。いくら成功してもヒットラー、スターリンのやぐらは違うものだった。</p> <p>□本論</p> <p>[1] アポロ(使18:24-28)</p> <p>1. 実力がある人。レムナントは実力を備えれば用いられるようになる。</p> <p>2. 霊力-プリスカに会って備えた。</p> <p>3. 実力と霊力、学業+信仰を備えた(証拠) - レムナントはみことばで確実な証拠を握れば、答えは後ほど続けて来る。</p> <p>[2] 初代教会(使19:1-8) - マルコの屋上の中で起こったそのままを再現</p> <p>ツラノ伝道運動する前に、あらかじめしたこと-どこでも一人で祈りで始めれば、神様が考えの中に重要な答えを与えられる。これが習慣になるべき。</p> <p>1. ヨハネのバプテスマ-水のバプテスマ 2. 聖霊のバプテスマ</p> <p>3. 結果-始まり-私に来た苦しみ、答え、すべて始まりだ。</p> <p>[3] 道しるべ-ツラノ運動(使19:8-20)</p> <p>今から霊力と実力をともに備えれば、どこに行っても答えから先に受けるようになって、道しるべが見える。</p> <p>1. 準備(使19:1-7) - この時間を持って道しるべが見える。</p> <p>2. 集中-神の国が臨むこと。3か月、2年間したところ、ツラノ全体にみことば運動が起こった。重要な道しるべと働きが現れるときは、揺れずに集中しなさい。</p> <p>3. 未来キャンブ-ローマも見なければならぬ。</p> <p>[4] カイザルの前に立たなければならない(使27:10-24) - 目標</p> <p>1. 世の中の教訓-パウロは何の誤りもないのに裁判を受けに行っている。世の中がそうだから、レムナントは揺れたり落胆しないように。</p> <p>2. 難破船の教訓-誰も神様のみことばに耳を傾けないときに来るわざわいは、誰も止めることができない。神様が与えられたみことばを信じるとき、暴風が静まった。</p> <p>3. 世界福音化-裁判を受けに行く前に起こった。</p> <p>□結論_祈りは、御座、宇宙、世の中を動かす。レムナントはこれから学びなさい。</p>	<p>散らされた弟子は散らされた民を見つける者</p> <p>□序論_なぜ迫害(患難)? - 真の弟子を見つける道、真の弟子は隠された者</p> <p>□本論_だまされないこと</p> <p>1. 強大国の中に散らされた者が多い。</p> <p>1) TCKは世界福音化の主役</p> <p>2) それゆえ、奴隷として送った場合が多かった。</p> <p>3) 移住民</p> <p>4) 大きな苦しみを受けて追い出された難民</p> <p>5) 勉強するために行った留学生</p> <p>△この中に弟子が隠されている。</p> <p>2. この中に残りの者として見るのだ</p> <p>1) さっと見れば旅人のように見える</p> <p>2) 散らされた者のように見える。</p> <p>3) 捕虜になった者のように見えるが残りの者だ。</p> <p>3. 神様の計画がある。</p> <p>1) 残る者(迫害) - 力を与えて、迫害が起こっても残る者とする</p> <p>2) 残れる者の答えを与えられるので(文化征服するようになる)</p> <p>3) 残す者として立てるので(次世代征服する力を与える)</p> <p>だまされなければ100年の答えが来る - 1000年の答えを残す。</p> <p>□結論_237・いやし・サミット</p> <p>1. カル・オリ・マルの契約を持って(237)</p> <p>2. いつもすべきこと使13:1-4 聖霊の導きを受ける苦闘、16:6-10 ターニングポイントを見つける祈り、19:1-7 マルコの屋上の中に起こった答えを再現させるその祈り(その後起こったのがいやし)</p> <p>3. 散らされた者がすべき最後のこと使17:1、18:4、19:8 講堂、広場(レムナント通じてサミット)</p>

△区域メッセージ (第 9 週) 237 生かす光と 25 の答え (イザ 60:1-22)	△聖日 1 部礼拝 信徒が味わう真の御座 (使 17:1-9)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 世界教会を建築せよ (使 18:1-4)					
<p>私たちが答えを受ければ私たちの産業、教会、次世代も生かされる。私たちは 237 に光を照らすほど大きい答え受けなければならない。私たちの力ではできないので 25 答えで可能だ。</p> <p>□序論_道(祈り) 実際に私たちが 237 か国に行くことができる道は一つ、祈りによって行くことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サミットの時間-世界福音化するために呼ばれたのでサミット祈りをすれば良い。 2. 意味-なぜここに、この時代にいるのか、何歳なのかなど意味を見つけることが重要だ。 3. 集中-神様に向かった集中が起こる時間が祈りだ。誤った集中は執着で、そうするうちに中毒に陥るようになる。集中は脳とたましいを生かすことだ 4. 力-祈りの時間は神様の力を重ねて受ける時間だ。 5. 御座-御座の祝福が臨む。 6. 時空超越という答えが来る。礼拝をささげているが、私たちの産業の場に、他の国にいる家族につながるができる。 7. 237-これになってこそ 237 が可能だ。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. やぐら(光) 暗やみ 私たちがやぐらにならなければならない。この祝福を分かれば <ol style="list-style-type: none"> 1) 12 わざわい-サタンが作った 12 わざわいだ。 2) ネフィリム時代-恐ろしい時代だ。 3) 霊的問題時代-こっそり来ている。 4) 精神病時代-どうしてもうまくいかないので精神が狂う。 5) 不治の病時代-医師が治せない大変な不治の病時代だ。こういうことを光で止めることができる。 2. 内容-身分キリストの大使 <ol style="list-style-type: none"> 1) 真の王-サタンに勝たれた真の王の大使として 2) 真の祭司-すべてのわざわいを止める真の祭司の大使として 3) 真の預言者-光を伝達できる真の預言者の大使として 3. 見張り人 <ol style="list-style-type: none"> 1) 始まりは三位一体の神様の力と御座の奥義だ。 2) 現住所はやぐらだ。そこに神様が多くのセラフィムを送られる。 3) 見張り人の旅程はイザ 7:14 インマヌエル、イザ 40 章の変わらないみことば、イザ 43:18-31 の光の力は荒地にも水が、海と川にも道が出るようにする。起きて光を放て。 4) 目標-通り過ぎる人も来なければならないので、万民のために旗を揚げなさい。大路を造りなさい。 <p>□結論_私の人生やぐら 光を照らす私の人生やぐらを作るのだ。力があれば他の人を生かすことができる。答えを受ければ戦う必要もない。ヨセフとダビデのように契約を握って祈りなさい。</p>	<p>□序論_三つの安息日に祈り-世の中を変える働きが起こった(2 節) テサロニケ教会-マケドニヤとアカヤ全体に模範になる教会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私の人生を変える神様の祝福の時刻表を見つけないさい <ol style="list-style-type: none"> 1) 80 歳のとき、血のいけにえの契約を握ったモーセ 2) 契約の箱と神殿契約を握ったダビデ 3) ホレブ山で人生を変えるメッセージを受けたエリヤ、答えを受けてみを生かしたオバデヤ 4) 20 日定めて祈った後、新しい人生が始まったダニエル 5) オリーブ山で 40 日集まった後に世界を変えた初代教会 2. 三つの安息日に集中したテサロニケ地域-最高のモデル教会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 信仰、希望、愛(1 テサ 1:3) 2) 力と聖霊と強い確信で(1 テサ 1:5) 3) いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい(1 テサ 5:16-18) 3. 私の人生を変える神様の力を説明できる確実な体験が起こるべき 私の人生、学業、産業に新しい体験がなければ、未信者より少し劣るようになる。 <p>□本論_三つの安息日の間、何に集中したのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜあなたにキリストが必要なのか当為性を説明(3 節) <ol style="list-style-type: none"> 1) 宗教家にもなぜキリストが必要なのか証明されるべきだ。 2) 強大国が滅亡する理由を知って、性急に大胆に福音を伝えたパウロ 3) 世界教会と信徒がこの奥義を知らないので来た精神病時代 2. イエスとそのキリストであることを伝えるとき、霊的にものすごいことが起こる(3 節) <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 3:15 が成就する時間 2) 出 3:18 が成就する時間 3) イザ 7:14 が成就する時間 4) マタ 16:16 が成就する時間 3. 「会堂、広場、ヤソンの家」に集中-神様の力で次世代、現場と産業、家を変えること <ol style="list-style-type: none"> 1) 会堂-次世代を変えること 2) 広場-私の現場と産業を変えること 3) ヤソンの家、貴婦人とギリシヤ人の家-みなさんの家を変えること <p>△決断を下して日を決めて一人で始めれば、みなさんに人生の答えが出て来るようになって、そのときから変わる。</p> <p>□結論_三つの祈りが生活化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 朝に定刻祈り-3・9・3 味わう祈り+呼吸 2. 昼に常時祈り-すべて祈りに変えること 3. 夜に集中祈り-答えとメッセージを見つける時間 <p>△必ず必要だと感じる瞬間から働きが始まる。一人でどこにいても大丈夫な力、どこへ行っても生き残る力がなければならない。神様が私の人生に与えられる本物の力を回復することだ。</p>	<p>1 部-人生の答えが出る答えが最高重要な答え 神の子どもが必ず私の人生に御座の答えを出すその体験が一番最初になければならない。正確な契約を握る瞬間から答えは来始める。</p> <p>□序論_出会い-御座の祝福を見ただけ答えになる (使 2:10 マルコの屋上間に参加したプリスカ夫婦、使 9:1-15 ダマスコで福音を受けたパウロ、使 18:1-4 彼らの出会い)</p> <table border="1" data-bbox="1480 395 2018 427"> <tr> <td>ロマ 16 章</td> <td>1 千やぐら-24 祈りチーム構成</td> </tr> </table> <p>この名簿にプリスカ夫婦がいる。この出会い自体が世界教会建築の始まりだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モーセ、イテロ、ヨシュア、カレブ、ラハブが会って、世界教会建築が始まった 2. サムエル、ダビデの出会い-ペリシテに完全に勝つ働き 3. エリヤ、エリシャ、オバデヤ-偶像時代に三人がやぐらの祈りが通じるので戦わずアラムに勝った。 4. ダニエル、三人の同僚、エステル-バビロンを完全に生かして全世界に福音があかしされた。 5. ローマ人(プリスキラ)、ユダヤ人(アクラ)、市民権者(みな合わせる事ができるパウロ) <p>△私が一生を遺産のように残す一つの国、一つの地域と弟子。その構成を組む日から、みなさんの人生にこの働きが起きる。</p> <p>□本論_コリント教会誕生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コリント福音化(偶像、港町) <ol style="list-style-type: none"> 1) I コリ 1:18-31 十字架のことばは、信じる者に救いを与える神の力です 2) I コリ 3:16(やぐら)-救われる瞬間、私にやぐらが作られる。 3) I コリ 16:18 伝道者と多くの人の心を安心させる教会 <p>△私の人生と家を完全に変わる祈りを始めると決断を下さなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. マケドニヤ福音化 使 18:4(会堂)-レムナントひとりが福音を正しく受ければ、その後には想像できない答えがある。 3. ローマ福音化(プリスカ夫婦の墓がローマにある)(ロマ 16:3-4、ロマ 16:25-27) <p>□結論_やぐらを作りなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 237・いやし・サミット 2. 三つの庭 3. 24・25・永遠システム <p>△レムナントが私を発見して悩みになる部分を見つけることができるシステム、多民族が来て平安に休んで祈って、力を受けて出て行くことができるセティングが必要だ。重職者は、一つの国、次世代に譲り渡す行く準備をしなければならない。そのとき、このこと(序論)が起こる。</p> <table border="1" data-bbox="1480 1283 1962 1369"> <tr> <td>定刻祈り(朝)-私を生かして御座化する祈り</td> </tr> <tr> <td>常時祈り(昼)-現場を御座化する祈り</td> </tr> <tr> <td>集中祈り(夜)-答えを出す祈り</td> </tr> </table> <p>△すると霊的な力、未来が見える知力、霊肉ともに健康な力が来て、このときから光の経済、全世界を生かす答えが来る(5 力)</p>	ロマ 16 章	1 千やぐら-24 祈りチーム構成	定刻祈り(朝)-私を生かして御座化する祈り	常時祈り(昼)-現場を御座化する祈り	集中祈り(夜)-答えを出す祈り
ロマ 16 章	1 千やぐら-24 祈りチーム構成						
定刻祈り(朝)-私を生かして御座化する祈り							
常時祈り(昼)-現場を御座化する祈り							
集中祈り(夜)-答えを出す祈り							